



平成29年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月3日

上場会社名 象印マホービン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7965 URL <http://www.zojirushi.co.jp>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 市川 典男
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 岡本 茂久 (TEL) 06-6356-2368
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月4日 配当支払開始予定日 平成29年8月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の連結業績(平成28年11月21日～平成29年5月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	48,390	△6.8	6,177	△27.5	6,490	△18.3	4,321	△14.9
28年11月期第2四半期	51,944	5.8	8,515	28.0	7,939	12.0	5,079	11.5

(注) 包括利益 29年11月期第2四半期 6,193百万円(67.4%) 28年11月期第2四半期 3,699百万円(△39.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	63.96	-
28年11月期第2四半期	75.18	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第2四半期	91,418	66,346	71.9
28年11月期	88,022	61,144	68.7

(参考) 自己資本 29年11月期第2四半期 65,706百万円 28年11月期 60,439百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	-	10.00	-	12.00	22.00
29年11月期	-	11.00			
29年11月期(予想)			-	11.00	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年11月期の連結業績予想(平成28年11月21日～平成29年11月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	△4.7	8,700	△28.2	9,200	△22.2	6,200	△15.1	91.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 -社(社名) 、除外 -社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年11月期2Q	72,600,000株	28年11月期	72,600,000株
② 期末自己株式数	29年11月期2Q	5,031,100株	28年11月期	5,031,010株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年11月期2Q	67,568,956株	28年11月期2Q	67,569,063株

3

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られ、企業収益や雇用環境は改善傾向となるなど緩やかな回復傾向となりました。しかしながら、中国を始めとするアジア新興国等の経済減速など世界経済の不確実性の高まりもあり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような経営環境の中で、当社グループは、小さな子供でもスムーズに飲むことができる新設計の飲み口を採用し、飲み方を2通りから選べる2WAYタイプのステンレスボトルなどの新製品を発売するとともに既存商品の販売にも注力いたしました。

製品区分別の概況は次のとおりであります。

調理家電製品につきましては、国内においては、3合炊きサイズの圧力IH炊飯ジャーの売上が増加したものの、その他の炊飯ジャーは競合他社との販売競争激化も影響し、全般的に前年実績を下回ったことにより、炊飯ジャー全体としては売上が減少いたしました。電気ポットは市場全体の出荷数量が減少した影響もあり、低調に推移いたしました。電気調理器具ではオーブントースターは上位モデルを中心に売上が増加したものの、ホットプレートやグリルなべなどが低調に推移し、電気調理器具全体としては売上が減少いたしました。海外においては、炊飯ジャーは中国市場でマイコン炊飯ジャーやIH炊飯ジャーが好調に推移したことにより、為替の影響による円換算額の減少はあったものの、全体としては前年実績を上回りました。電気ポットは中国市場では売上が伸長したものの、台湾や東南アジアなどで売上が減少いたしました。その結果、調理家電製品の売上高は318億59百万円（前年同期比8.7%減）となりました。

リビング製品につきましては、国内においては、飲み方を2通りから選べる2WAYボトルや保冷専用のステンレスクールボトルが新製品の投入効果もあり売上が増加し、ステンレスマグもワンタッチオープンタイプを中心に前年実績を上回りました。しかしながら、ステンレスフードジャーは市場全体の出荷数量減少の影響もあり、低調に推移いたしました。海外においては、中国市場ではステンレスマグやステンレスポットが好調に推移したものの、為替の影響による円換算額の減少により、ほぼ前年並みの売上にとどまりました。また、北米市場ではステンレスマグやステンレスマホービンを使用した大型の業務用コーヒーサーバーなどが低調に推移し、台湾市場でもステンレスフードジャーを中心に売上が減少いたしました。その結果、リビング製品の売上高は140億93百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

生活家電製品につきましては、加湿器の売上が増加したものの、ふとん乾燥機が競合他社との販売競争激化の影響もあり、ほぼ前年並みの売上にとどまり、空気清浄機も前年実績を下回ったことにより、生活家電製品の売上高は16億4百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

また、その他製品の売上高は8億33百万円（前年同期比1.5%減）となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、国内においては炊飯ジャーを中心に売上が減少したことに加えて、海外においても中国市場では売上が増加したものの前年同期に比べ円高で推移したことによる海外売上高の円換算額の減少が大きく影響し、483億90百万円（前年同期比6.8%減）となりました。利益につきましては、円高による海外生産品の原価低減効果はあったものの、売上高の減少に加え、海外においてステンレスマホービンや炊飯ジャーなど主力商品の利益率が低下したこともあり、営業利益は61億77百万円（前年同期比27.5%減）となりました。経常利益につきましては、64億90百万円（前年同期比18.3%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は43億21百万円（前年同期比14.9%減）となりました。

・製品区分別売上実績

製品区分	販売高(百万円)	前年同期比(%)
調理家電製品	31,859	△8.7
リビング製品	14,093	△3.4
生活家電製品	1,604	△0.9
その他製品	833	△1.5
合計	48,390	△6.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

(参考情報)

・所在地別業績

(単位：百万円)

	日本	アジア	北米	その他	合計
売上高					
外部顧客への売上高	31,587	13,154	3,648	—	48,390
所在地間の内部売上高 又は振替高	6,624	2,903	0	(9,529)	—
営業利益	4,258	1,571	493	(146)	6,177

・地域別売上高

	日本	海外						合計	
		アジア		北米	欧州	中近東	その他		計
		内、中国							
地域別売上高 (百万円)	30,791	13,627	6,762	3,552	89	207	123	17,598	48,390
全体に占める 割合(%)	63.6	28.2	14.0	7.3	0.2	0.4	0.3	36.4	100.0

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産が33億96百万円増加し、負債が18億4百万円減少しました。また、純資産は52億1百万円増加しました。その結果、自己資本比率は3.2ポイント増加し71.9%となりました。

総資産の増加33億96百万円は、流動資産の増加33億56百万円及び固定資産の増加40百万円によるものであります。

流動資産の増加33億56百万円の主なものは、現金及び預金の増加86億29百万円、受取手形及び売掛金の減少14億93百万円、商品及び製品の減少34億73百万円であります。また、固定資産の増加40百万円の主なものは、機械装置及び運搬具の増加1億87百万円、建設仮勘定の減少1億62百万円、ソフトウェアの減少2億31百万円、投資有価証券の増加3億32百万円、退職給付に係る資産の増加2億80百万円、投資その他の資産その他の減少3億53百万円であります。

負債の減少18億4百万円は、流動負債の減少19億60百万円及び固定負債の増加1億55百万円によるものであります。

流動負債の減少19億60百万円の主なものは、支払手形及び買掛金の減少13億60百万円、未払費用の減少2億34百万円、流動負債その他の減少3億69百万円あります。また、固定負債の増加1億55百万円の主なものは、繰延税金負債の増加2億54百万円、退職給付に係る負債の増加44百万円、固定負債その他の減少1億44百万円あります。

純資産の増加52億1百万円の主なものは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上43億21百万円、剰余金の配当の支払8億10百万円、その他有価証券評価差額金の増加2億69百万円、為替換算調整勘定の増加14億27百万円あります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきまして、平成28年12月26日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

売上高につきましては、第2四半期連結累計期間での売上高が当初予想を下回ったことや、国内市場が需要の停滞に加え、既存の競合他社だけでなく新規参入企業も含めた販売競争・価格競争の激化などにより当初の予測以上に厳しい環境下で推移しており、第3四半期以降も厳しい状況が続くと予測されることから修正を行うものであります。

また、利益につきましては、当初予想に比べて売上高が減少する見込みであることに加え、主力商品の競争激化による利益への影響も勘案して、修正を行うものであります。

<通期連結業績予想>

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	百万円 88,500	百万円 10,000	百万円 10,300	百万円 6,800	円 100.64
今回予想 (B)	85,000	8,700	9,200	6,200	91.76
増減額 (B-A)	△3,500	△1,300	△1,100	△600	—
増減率 (%)	△4.0	△13.0	△10.7	△8.8	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年11月期)	89,231	12,109	11,822	7,299	108.03

※ なお、上記の予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,755	32,384
受取手形及び売掛金	14,029	12,535
電子記録債権	1,276	1,226
有価証券	100	100
商品及び製品	18,732	15,258
仕掛品	222	169
原材料及び貯蔵品	1,989	2,254
繰延税金資産	1,269	1,270
その他	3,215	2,750
貸倒引当金	△6	△10
流動資産合計	64,583	67,939
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,908	13,814
減価償却累計額	△10,870	△10,751
建物及び構築物(純額)	3,037	3,063
機械装置及び運搬具	3,309	3,499
減価償却累計額	△2,937	△2,940
機械装置及び運搬具(純額)	371	559
工具、器具及び備品	6,622	6,807
減価償却累計額	△4,832	△5,091
工具、器具及び備品(純額)	1,789	1,716
土地	7,387	7,387
リース資産	1	1
減価償却累計額	△0	△1
リース資産(純額)	0	0
建設仮勘定	169	6
有形固定資産合計	12,756	12,733
無形固定資産		
のれん	9	6
ソフトウェア	2,539	2,308
その他	159	199
無形固定資産合計	2,708	2,514
投資その他の資産		
投資有価証券	7,103	7,436
繰延税金資産	68	65
退職給付に係る資産	71	351
その他	741	387
貸倒引当金	△11	△10
投資その他の資産合計	7,973	8,230
固定資産合計	23,438	23,478
資産合計	88,022	91,418

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年11月20日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,925	7,564
短期借入金	174	-
1年内返済予定の長期借入金	1,500	1,500
未払費用	6,595	6,361
未払法人税等	1,526	1,728
賞与引当金	1,094	1,084
製品保証引当金	236	222
その他	1,218	848
流動負債合計	21,271	19,311
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
繰延税金負債	1,018	1,272
退職給付に係る負債	2,577	2,622
その他	509	365
固定負債合計	5,606	5,761
負債合計	26,877	25,072
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,022	4,022
資本剰余金	4,163	4,163
利益剰余金	52,637	56,147
自己株式	△972	△972
株主資本合計	59,851	63,361
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,021	2,290
為替換算調整勘定	△867	560
退職給付に係る調整累計額	△565	△506
その他の包括利益累計額合計	588	2,344
非支配株主持分	705	639
純資産合計	61,144	66,346
負債純資産合計	88,022	91,418

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月21日 至平成28年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月21日 至平成29年5月20日)
売上高	51,944	48,390
売上原価	32,806	31,362
売上総利益	19,137	17,027
販売費及び一般管理費	10,622	10,850
営業利益	8,515	6,177
営業外収益		
受取利息	35	30
受取配当金	28	25
仕入割引	20	16
持分法による投資利益	119	221
受取ロイヤリティー	29	36
受取賃貸料	57	66
為替差益	-	145
その他	72	44
営業外収益合計	364	588
営業外費用		
支払利息	21	10
売上割引	249	238
為替差損	631	-
その他	36	26
営業外費用合計	939	274
経常利益	7,939	6,490
特別利益		
固定資産売却益	1	-
特別利益合計	1	-
特別損失		
固定資産除却損	102	14
その他	0	-
特別損失合計	103	14
税金等調整前四半期純利益	7,838	6,476
法人税、住民税及び事業税	1,790	1,950
法人税等調整額	880	132
法人税等合計	2,670	2,083
四半期純利益	5,167	4,392
非支配株主に帰属する四半期純利益	87	71
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,079	4,321

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月21日 至平成28年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月21日 至平成29年5月20日)
四半期純利益	5,167	4,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△497	269
繰延ヘッジ損益	△28	-
為替換算調整勘定	△892	1,261
退職給付に係る調整額	15	58
持分法適用会社に対する持分相当額	△64	211
その他の包括利益合計	△1,467	1,800
四半期包括利益	3,699	6,193
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,691	6,077
非支配株主に係る四半期包括利益	8	115

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年11月21日 至平成28年5月20日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年11月21日 至平成29年5月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	7,838	6,476
減価償却費	731	958
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	2
賞与引当金の増減額(△は減少)	△179	△23
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△259	△219
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	71	50
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△15	△13
受取利息及び受取配当金	△63	△56
支払利息	21	10
持分法による投資損益(△は益)	△119	△221
固定資産売却損益(△は益)	△1	-
固定資産除却損	102	14
売上債権の増減額(△は増加)	1,377	1,842
たな卸資産の増減額(△は増加)	4,185	4,068
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,598	△1,801
未払費用の増減額(△は減少)	△594	△356
その他	1,759	68
小計	11,228	10,799
利息及び配当金の受取額	65	508
利息の支払額	△21	△19
法人税等の支払額	△2,462	△1,836
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,810	9,451
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△697	△223
定期預金の払戻による収入	300	569
有価証券の売却及び償還による収入	300	-
有形固定資産の取得による支出	△650	△582
有形固定資産の売却による収入	2	-
無形固定資産の取得による支出	△1,192	△133
投資有価証券の取得による支出	△11	△12
その他	△343	316
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,292	△65
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の返済による支出	-	△189
長期借入れによる収入	-	1,500
長期借入金の返済による支出	-	△1,500
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△810	△809
非支配株主への配当金の支払額	△114	△181
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△925	△1,180
現金及び現金同等物に係る換算差額	△645	715
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,946	8,920
現金及び現金同等物の期首残高	21,018	22,691
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,965	31,612

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。